

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	アイヌ地区住民就職促進費	担当部局庁	職業安定局派遣・有期労働対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和50年度	担当課室	企画課就労支援室	就労支援室長			
会計区分	一般会計 労働保険特別会計(雇用勘定)	施策名	(Ⅱ-1-3)高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	北海道におけるアイヌ地区住民は、歴史的、社会的事情により不安定な就労状態にある者が多く、就職に際して生活面での不安を解消することにより、安心して就職活動が行える環境整備する必要があることから、これらの者が常用雇用による雇用の安定を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「アイヌ地区住民」に対してきめ細かい職業指導・職業紹介を実施するとともに、資金の貸付を受けなければ常用雇用や安定的な雇用の継続が困難となる者に対して、就職時の当座の生活資金として「就職促進資金」を貸し付ける。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	20	18	17	9	13
		補正予算					
		繰越し等					
		計	20	18	17	9	13
		執行額	9	8	9		
	執行率(%)	47%	43%	54%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	職場定着率(1年以上継続雇用)	成果実績	%	-	-	-	70%
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	貸付実施件数	活動実績 (当初見込み)	件	79	64	57	-
						(133)	(70)
単位当たりコスト	160,509(円/件)	算出根拠	平成22年度執行額(9,149千円)を平成22年度貸付実施件数(57件)で除して得た額。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	謝金【一般】	0.2	0.2	返済免除に伴う欠損補填に係る経費増			
	旅費【一般】	1.2	1.2				
	庁費【一般】	0.2	0.2				
	補助【雇用】	7.1	11.6				
計	9	13					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アイヌ地区住民の高齢化の進展や利用希望者の減少から、計画数を大きく下回る利用状況となっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	アイヌ地区住民のニーズ等を踏まえ、貸付制度を利用し職場への定着が図られるよう、制度の周知に努めるとともに、就職後のフォローアップ等を的確に行う必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	アイヌ地区住民就職促進費は、執行状況を予算要求に反映すること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
交付状況を踏まえ、事務経費の見直しを行った。(反映額: ▲5百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国

厚生労働省
(9百万円)

・北海道労働局とのアイヌ経験交流会の
共催。

【予算示達】

北海道労働局
(0.8百万円)

・厚生省とのアイヌ経験交流会の共催。
・貸付の申請受付等。

【補助】

A. (独)雇用・能力開発機
構(8百万円)

・貸付の実施等。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(独)雇用・能力開発機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助	アイヌ地区住民に対する就職資金貸付	8.2			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(独)雇用・能力開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)雇用・能力開発機構	アイヌ地区住民に対して就職促進資金の貸付等を実施。	8.2		